

## 市指定文化財<無形民俗>

### よめまつ 嫁とり祭り

指定日 平成23年10月25日

所在地 菊池市稗方



毎年12月20日におこなわれている民俗行事で、始められた時期は定かではないが、江戸時代の終わり頃にはおこなわれていたとされる。

村社である稗方菅原神社で五穀豊穰、縁結びなどを祈願し、翌年の座元を決めたのちに、氏子の座元宅に場所を移す。座元の家では庭にネコボクを敷いて周囲に幕をめぐらせた式場をつくり、そこで仮の結婚式の盃事の作法をおこなう。

神職によるお払いと祝詞奏上<sup>のりと</sup>のあと、新郎役と新婦役が稚児<sup>ちご</sup>（幼児）のお酌取りで三三九度の盃を交わして仮の夫婦が誕生する。その後媒酌人<sup>ばいしゃくにん</sup>の「あ〜めでたやの〜」の音頭で、参加者全員に振舞われる甘酒で乾杯し、玉串<sup>たまぐし</sup>が捧げられ、行事の最後に神職が「この婚礼は、あくまでもこのネコボクの上のことだけ」と告げ、全員の大きな笑い声に包まれて終わる。仮の結婚式をおこなう民俗行事のなかでも、人と人でおこなわれるものは全国的にも珍しい。